

いっしょにやってみよう!!

私たちの地球は、地球温暖化や大気汚染と問題がいっぱいです。人間が便利な生活のためにいろいろな物をつくり、その結果ごみがたくさん出てしまいます。環境を考えてすぐ出ることといえ、身近になったごみの分別があります。お宅でも、子どもたちといっしょにしてみはどうか？

【ちゃんと分けよう 資源ごみ】

・(紙類)
新聞紙・雑誌・雑紙・ダンボール・牛乳パック
洗って乾かし、しばろう

・ペットボトルキャップを集めると、世界の子どものポリオワクチン購入資金になるんだって

・プラスチック容器・袋
洗って乾かさう

・ペットボトル
洗って乾かし
つぶさう

・古着
洗濯してたたもう

・アルミ缶
洗って乾かし
つぶさう

・ビン
洗って乾かさう

・白色トレイ
洗って乾かさう

牛乳パックを洗って乾かし、切っている学校もあるよ

リサイクルトレイを持っていくとポイントになるスーパーがあるらしいよ

* 地域により分別の仕方が違うので確認しましょう。

ごみを出さないようにするのはもちろんですが、商品を選ぶときはリサイクル製品や環境にやさしい製品を選びましょう。小さな子ども、おうちのかたと一緒にすることで、習慣になってくれるといいですね。

子どもは、あそびの中から学び発達していきます。スキンシップも愛情が育つ大切なこと。ここでは、わらべうたに合わせたあそびを紹介します。今回は、春を感じる「つくしんぼ」になります。

【ずくぼんじょ】(つくしのことだよ)

ずーくぼんじょ
ずくぼんじょ
ずっきん かぶって
でてこらさい

腕を上下に動かす

ニョキッ!

腕をおろして
ニョキッと頭をだす

* しゃがんだ姿勢から、だんだん大きなつくしになってもいいよ。
* あかちゃんは抱っこのまましゃがんで、だんだん高くなり、高い高いをしてあげる。

特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
2010年冬号

こども21

〒515-0043 松阪市下村町1115
TEL・FAX 0598-20-1511
(開所日・時間 月～金 10:00～17:00)
ホームページ <http://www.mknpo.jp/>
eメール info@mknpo.jp

子どもたちが のびやかで 豊かな「子ども時代」を すごすために



「絵本の読み聞かせ&ほっとカフェ」おしゃべり中!



自己肯定感とか自己尊重とかいう言葉を聞いたことはありますか？自分探しや、子育ての本には必ず出てくる言葉です。意味は自分を大切にす気持、自分が自分のままであっていいという思い・・・わかるようなわからないような・・・。

白い紙を広げて、左側に自分で自分の好きなところを、右側に自分の嫌いなところを書いてみてください。あなたはどちらの方が沢山書けますか？

例えば、元気で動きも多く自分の事を主張する子に「いつも落ち着きが無い、たまには人の話も聴きなさい」というのと、「いつも元気でお話もいっぱいできるね、今日は交代でお友達の話を聴こうか」というのとでは子どもはどちらが納得するでしょう？喧嘩を始めた子どもたちの間に割って入って「はいはい・・・両方が悪いんだからふたりとも謝ろうね」とか一応話しは聞けけれど「そりゃあ、あなたが悪いわよ・・・」と判定をしたりしませんか。実は子どもたちは子どもたちなりの言葉でお互いの気持を伝えることができるのです。その結果が大人から見て少々理不尽でもそこには自分たちで解決した満足感と子どもたちなりのルールが生まれます。そういう小さな積み重ねが、私は意見をいってもいいんだ、ちゃんと尊重してもらえ自分は大切な存在なんだという気持につながるのではないのでしょうか。

自分の好きなところが多という事だけが、自己肯定感が高いというわけではありませんが、生きやすさにはつながると思います。そして右側の嫌いなところの方が多かった人は、少し自分を休ませてあげてください。毎日が楽になるかもしれませんよ。

理事長 大門公子

子どもの権利フォーラム・ マタニティフェスティバル

全体参加費：18歳以下無料
19歳以上1,500円
★2日間おとしての参加費です
*下記のとおり別途参加費のいる企画もあります

と き：2月27日(土)28日(日)
と ころ：三重県総合文化センター
フレンドみえ



～子どもの権利は胎児から～

「安全・安心・快適なお産」「子どもの権利」「とぎれのない支援」について考え、実践につなげようと、沢山の企画があります。この機会を逃さないでくださいね!

おすすめは!

みなさんに

- 「自分のことが好き!」と言える子どもを育てよう
自己肯定感を育む関わりを考える【27日(土)15:30～】
明橋大二(真生会富山病院心療内科部長)
—この先生の著書が本屋さんにたくさん並んでいます—
別途参加費：無料

- 基調講演【27日(土)13:30～】
仁志田博司(東京女子医科大学名誉教授)
—小児科医の誰もが知っている先生です—
別途参加費：無料

お母さんたちに

- カナダの子育てプログラム
「ノーバディズ・パーフェクト」
【28日(日)10:00～12:00】
0歳～5歳の乳幼児を持つ母親対象
(要申し込み・12名 別途参加費:100円)
*完璧な親はいません 周りに助けられながら親になっていくのです

子どもたちに

- いのちの授業【27日(土)13:30～14:30】
小学1～3年対象 —おへその不思議—
(要申し込み・30名 無料)
- いのちの授業【28日(日)10:00～11:00】
小学4～6年対象 —変化するからだところ—
(要申し込み・30名 無料)
- いのちの授業【28日(日)11:15～12:15】
中学生以上19歳未満対象 —動物と人間の違い—
(要申し込み・30名 無料)

マタニティの
みなさんに

- 助産師さんたちによる
産前・産後なんでも相談コーナー
【28日(日)13:00～15:00】別途参加費：無料

お父さんに

- お父さんへ
～赤ちゃんからのメッセージ～
【27日(土)13:30～14:30
14:30～15:30】
(各15名・別途参加費：無料)

- 自己尊重トレーニング【28日(日)13:00～15:00】
妊産婦・一般対象 (要申し込み・15名 別途参加費：500円)
*ほめること ほめられることで認め合う心地よさを味わいます

- パパ あそび【2日間終日】
お母さんが他の企画に参加している間、
お父さんの出番です!
(別途参加費：無料)

松阪市にも子どもの権利条例を!

2008年三重県で開催された「子どもの権利フォーラム」
をきっかけに動き出しています。

子ども会議『想いをことばに・・・』

第3回(11月29日)第4回(1月24日)終了

2008年に開催された「子どもの権利フォーラム」をきっかけに動き出した「松阪市子どもの権利条例づくり」への道のり。子どもの声を聞くことが大切とはじめた「子ども会議」も4回を終え、その声に耳を傾け、受け止める大人の姿勢が問われています。子ども会議に参加している子どもたちは、回を重ねるたびに、人の意見も聞きながらその意見に自分の気持ちを重ね、そして自分の言葉で語ることを始めています。3回目の会議では、参加している子どもから、「自分たちの意見がみんなの意見と思わないで」とより多くの子どもの意見を聞くことの大切さも出されました。4回目には「理想の学校」をテーマに、参加者それぞれの「こんな学校がいいなあ」を出し合ったあと、ポストイットに書き出してみました。そして自分たちで出した想いに対して、『子どもの気持ちを素直に受け止めて欲しい』『子どもだけでなく大人の意見も聞かなあかん』『子ども同士でも解決できることがある』などの感想が出されました。これからも、子どもの意見を聞く機会をつくっていくと共に、「条例なんて難しいことはわからないけれど、このことだけは絶対に入れて欲しい!」という子どもが意見表明する機会もつくっていくことが大切です。

大人も子どもも「権利」のことをひとごとにはせず、自分たちのことと捉え、積極的に取り組んで欲しいと思います。そのことが、生きた条例づくりへと続いていくと信じています。松阪市に「子どもの権利条例」ができるまでには困難な道のりではありますが、実現に向けて一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

